

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 70歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症に追加されて以降, 昨年は15例の報告があり, 本年は第24週までに24例の届出がありました。年齢階級別にみると, 5歳未満 6例, 30歳代 1例, 60歳代 5例, 70歳代 6例, 80歳代 5例, 90歳代 1例となっており, 5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しています。年間を通じて注意が必要な疾患であり, ワクチンによる予防が重要となります。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は1.17(48例)で, 前週 0.44(18例)に比べ, 約2.7倍増加しています。全国的にも同様に増加しています。ヘルパンギーナは季節性が明確で, 例年, 7月を中心として6～8月に増加しますので, 今後の動向にご注意ください。

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.90(37例)で, 過去5年間の同時期と比較して一番多く, 本年に入り最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 1例, その他結核 4例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 183例(肺結核 91例, その他結核 42例, 潜在性結核感染者 50例)うち喀痰塗抹陽性 43例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 2例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

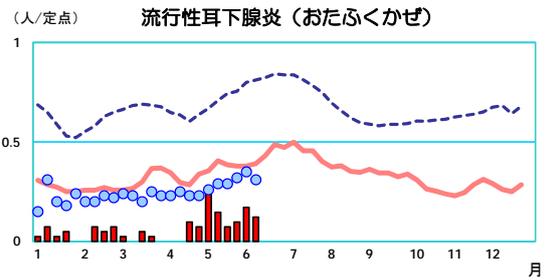
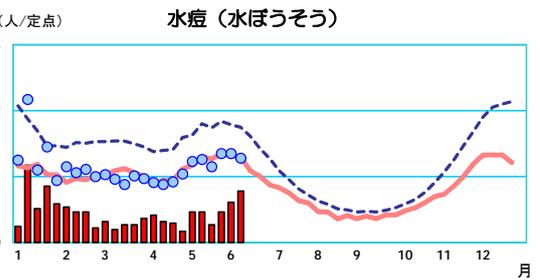
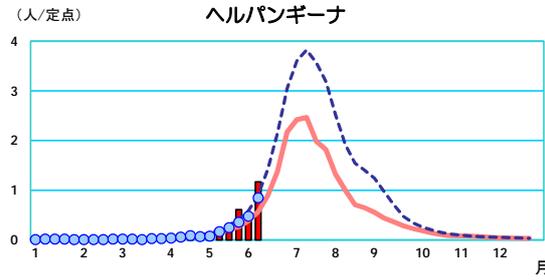
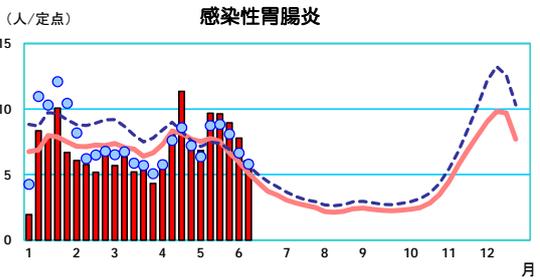
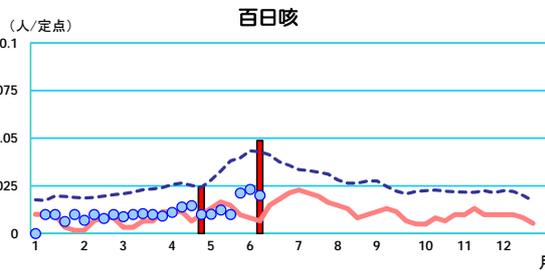
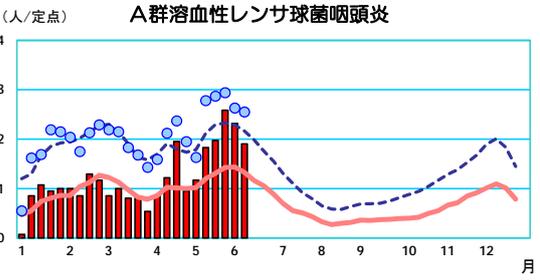
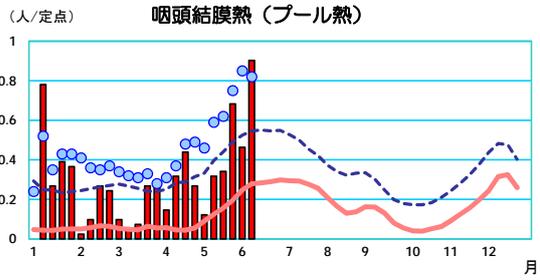
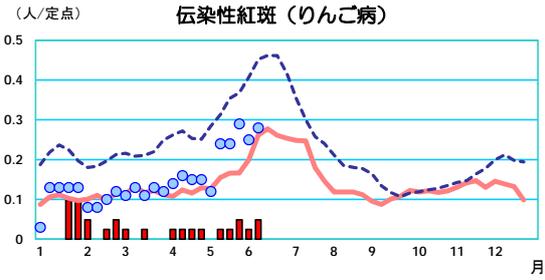
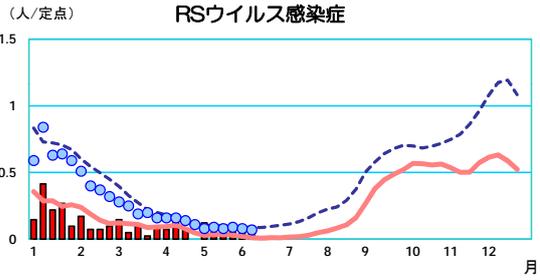
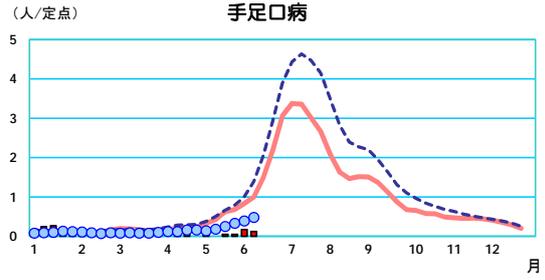
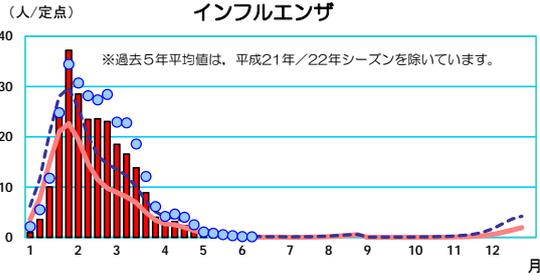
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.06	4
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.07	249
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90	78
	③ ヘルパンギーナ	1.17	48
	④ 咽頭結膜熱	0.90	37
	⑤ 水痘	0.78	32
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

(注) 京都市のデータは, 平成26年6月19日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第24週(6月9日～6月15日)トピックス: <咽頭結膜熱>

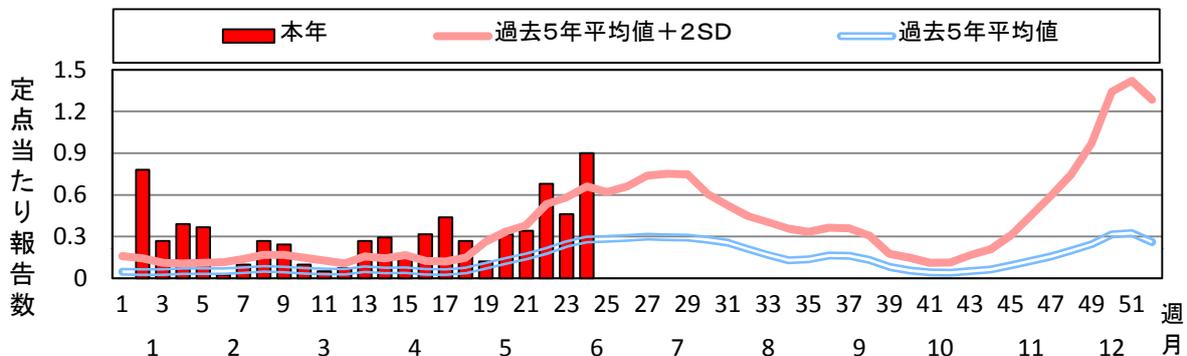
咽頭結膜熱の定点あたり報告数は0.90(37例)で、過去5年間の同時期と比較して一番多く、本年に入り最も多い報告数となっています。また、今週の報告数は「過去5年平均値+2SD(*)」を上回っており、過去5年間の発生状況よりもかなり多いことが示されています。

咽頭結膜熱は、例年、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。昨年は6月に流行のピークを迎えた後、いったん落ち着きましたが、11月以降増加に転じ12月に最大の報告数となりました。本年に入ってから過去5年平均値を上回る状態が続いており、また「過去5年平均値+2SD」を半数以上の週で超えていることから、これまでも当トピックスで取り上げて注意喚起をしています。さらに報告数が増加する可能性がありますので、今後の動向に注意が必要です。

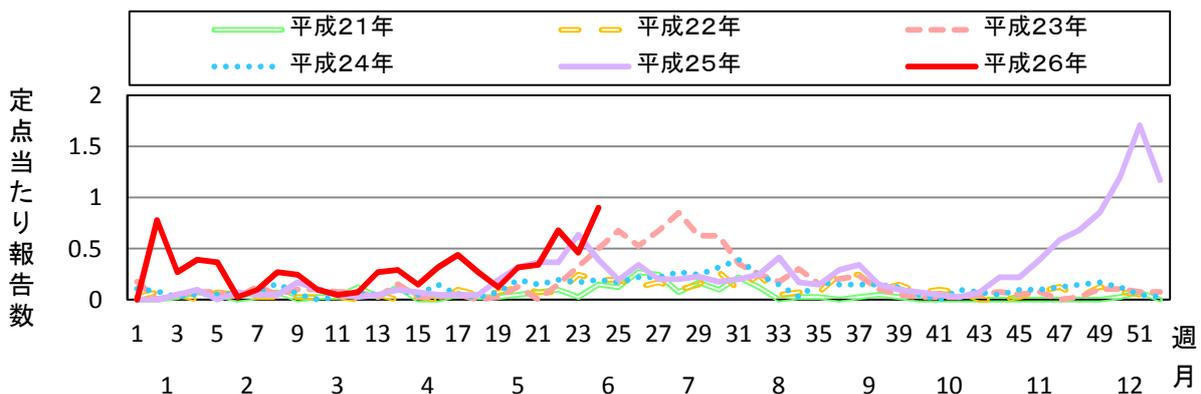
都道府県別では24都府県で前週より増加しており、そのうち近畿6府県では3府県(京都府、奈良県、和歌山県)で増加しています。

(*)SDとは標準偏差のことで、データのばらつきの大きさを示す尺度です。下のグラフにおいて、赤の棒グラフ(本年の定点あたり報告数)がピンクのライン(過去5年平均値+2SD)を超えているときには、過去5年間と比較してかなり多いことを意味しています。

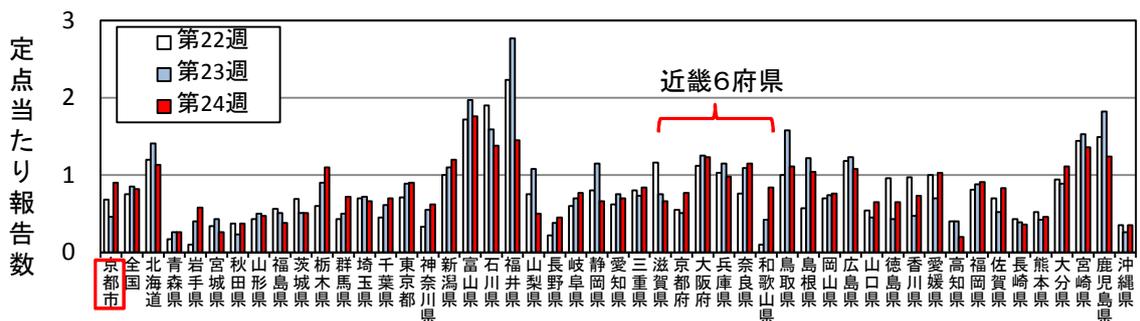
本市の定点あたり報告数の推移



本市の過去5年間との週別比較



都道府県別定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第24週

疾病,行政区別報告数

平成25年6月9日～平成25年6月15日

データ入手日:平成26年6月19日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	-	-	9	7	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	9	7	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	1	-	2	2	7	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	2	2	7	46	8	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1	1	4	12	1	-	-	2	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	-	11	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	13	2	1	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	19	24	40	8	-	1	6	-	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	6	21	62	5	4	1	2	1	11	1	-	2	-	-	-	-	-	-
西京	2	-	7	7	38	3	-	-	5	-	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	4	4	37	78	249	32	5	2	20	2	48	5	-	4	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	2.25	1.75	0.25	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	2.25	1.75	0.25	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	0.20	-	0.67	0.67	2.33	0.33	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.50	0.50	1.75	11.50	2.00	-	-	0.50	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.33	0.33	1.33	4.00	0.33	-	-	0.67	0.33	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	-	5.50	1.00	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.25	2.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	0.50	-	-	1.00	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	4.33	0.67	0.33	-	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	3.80	4.80	8.00	1.60	-	0.20	1.20	-	0.80	0.40	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.86	3.00	8.86	0.71	0.57	0.14	0.29	0.14	1.57	0.14	-	1.00	-	-	-	-	-
西京	0.29	-	1.75	1.75	9.50	0.75	-	-	1.25	-	2.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.06	0.10	0.90	1.90	6.07	0.78	0.12	0.05	0.49	0.05	1.17	0.12	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第24週

年齢階級, 疾病別報告数

平成25年6月9日～平成25年6月15日

データ入手日:平成26年6月19日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-
RSウイルス感染症		4	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		37	-	3	13	2	3	5	4	5	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		78	-	-	-	6	12	10	8	6	11	9	3	9	1	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		249	1	18	33	23	32	22	22	20	15	12	5	20	5	21	-	-	-	-	-	-
水痘		32	1	-	8	1	5	4	4	4	1	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	5	-	-	1	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		20	-	9	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		48	1	-	18	15	7	2	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	0.01	0.01	-
RSウイルス感染症		0.10	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.90	-	0.07	0.32	0.05	0.07	0.12	0.10	0.12	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.90	-	-	-	0.15	0.29	0.24	0.20	0.15	0.27	0.22	0.07	0.22	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.07	0.02	0.44	0.80	0.56	0.78	0.54	0.54	0.49	0.37	0.29	0.12	0.49	0.12	0.51	-	-	-	-	-	-
水痘		0.78	0.02	-	0.20	0.02	0.12	0.10	0.10	0.10	0.02	-	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.12	-	-	0.02	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.05	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.49	-	0.22	0.24	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.17	0.02	-	0.44	0.37	0.17	0.05	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	0.10	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

集計対象:平成26年第24週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成26年6月19日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		45	38	16	9	-	4
RSウイルス感染症		5	2	2	4	3	4
咽頭結膜熱		5	13	14	28	19	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	75	81	106	95	78
感染性胃腸炎		280	397	395	367	319	249
水痘		19	19	11	19	25	32
手足口病		1	-	2	2	7	5
伝染性紅斑		-	1	1	2	1	2
突発性発しん		9	16	24	19	24	20
百日咳		-	-	-	-	-	2
ヘルパンギーナ		1	9	13	25	18	48
流行性耳下腺炎		11	6	3	4	7	5
急性出血性結膜炎		-	1	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	7	7	7	14	4
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		430	584	569	592	532	490

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.66	0.56	0.24	0.13	-	0.06
RSウイルス感染症		0.12	0.05	0.05	0.10	0.07	0.10
咽頭結膜熱		0.12	0.32	0.34	0.68	0.46	0.90
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.17	1.83	1.98	2.59	2.32	1.90
感染性胃腸炎		6.83	9.68	9.63	8.95	7.78	6.07
水痘		0.46	0.46	0.27	0.46	0.61	0.78
手足口病		0.02	-	0.05	0.05	0.17	0.12
伝染性紅斑		-	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05
突発性発しん		0.22	0.39	0.59	0.46	0.59	0.49
百日咳		-	-	-	-	-	0.05
ヘルパンギーナ		0.02	0.22	0.32	0.61	0.44	1.17
流行性耳下腺炎		0.27	0.15	0.07	0.10	0.17	0.12
急性出血性結膜炎		-	0.10	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	0.70	0.70	0.70	1.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		10.51	14.48	14.25	14.88	14.03	12.21

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。